|  |
| --- |
| 平成２９年度　第4回　内灘町男女共同参画推進委員会 |

【日　　時】　平成３０年１月３０日（火）１４：００～１６：００

【場　　所】　内灘町役場　３階　３０３会議室

【出席委員】　綿引委員・中村委員・源代委員・庄田委員（４名）

【事 務 局】　助田（室長）・喜多・小谷

―――――――――――――　会　議　内　容　―――――――――――――

1. 開会の挨拶　　　　　　　男女共同参画室　室長　助田　有二

２．議　事

【第１号議案　町民意識調査（アンケート）の集計結果について】

（事務局）　集計結果の報告

　　　　　回収数375票　／　回収率37.6％　で、

　　　　　男女比は　女性57.6％、男性42.1％、その他0.3％であった。

　　　　　年代別対象者の数はまず、年代別総人口が、男女それぞれの総人口に対し、何割を占めているかを計算し、500人　×　何％　という式で求めている。

その為、意識調査の発送に当たっては、20代、30代の対象者が７０歳以上

の約半数と少なかったことも、若い世代の回答率の低さに繋がった。

　　　　　今後の町民意識調査を行うに当たり、各年代ともに同じ割合として無作為

　　　　　抽出することが適当か否かは、次期検討事項となる。

　　　　・集計データに総計（ｎ＝　）を表示する

　　　　・複数回答のグラフには　（人）　の単位を表示する

・問６の男女共同参画の用語認知度調査においては、用語の解説を付ける。

　　　　　　・問７の「男は仕事、女は家庭」という考え方については、年代別回答を

　　　　　　　更に掘り下げ、背景を推測し今後の活動に活かすこと。

　　　　　　　※20代に「男は仕事、女は家庭」に賛成する割合が比較的多く、50代が

少ないことは、なぜなのか。「女性は進出する必要はない」という回答

とのクロス集計等、検討する。

　　　　　　・問８のＤ：学校教育の場　における平等感について、女性の回答では男性

優遇と感じている人が多かったことについて、考察する。

　　　　　　・問９「結婚感」

Ｃ：結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない　について、

男女で大きな差があることについて、子どもを持つことに関する価値観

の差を考察。

　Ｅ：夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである　について、

　問７の「男は仕事、女は家庭」との考えと検討。

　　　　　　・問１１、１２　「女性、男性にとって重要なこと」

　　　　　　　　Ｃ：家事ができること、Ｆ：経済力があること　について、年代別

　　　　　　　　の検証をおこなう。

・問１４の集計データを100％表示でなく、回答数のグラフとする

・その他、単位表示やグラフの表し方を検討

・調査対象者からの様々な意見は原文のまま、紹介する。

　　　　　・その他誤字脱字の訂正。

　　　＝＝　上記内容を訂正後、再度内容確認を委員の皆様へお願いし最終とする　＝＝

　　　　　　　（※集計結果は３月末に役場ホームページにアップ予定）

【第２号議案　内灘町男女共同参画行動計画について】

（事務局）　別途配布資料にて説明。

　　　　　　　　前回の行動計画書の内容を基にまとめた。

　　　　　　　　基本的に赤字の部分が訂正した箇所となり、グラフはモノクロで、

今回の結果を記載。主に、【現状と課題】について、意識調査のデータを

基に作成した。

また、各課の事業計画においては、課の名称が変更となっているところ

を主に訂正し、それぞれ目標Ⅰから目標Ⅴの追加となっている部分につ

いては、各課内へ内容の再確認を行っている。

※その他　訂正やご意見

　　　　　　　　・ｐ26　パートナーの間で、身体的・心理的な暴力を受けるＤＶについ

て、あなたは身近で見聞きしたり、自分がうけたりしたことがありま

すか。　棒グラフを回答数でなく、回答人数で割った％へ変更する。

ｐ27は値の大きいグラフと小さいグラフが混在しており、見にくい為

途中省略もしくは、別表とする。

　　　　　　　　・パーセント表示以外のグラフは　（人）　の単位を付ける

　　　　　　　・ｐ32　各審議会委員における女性委員の比率の推移　⇒　人数も記載

　　　　　　　・ｐ38　グラフの見比べを、上下でなく、左右になる様工夫する。

　　　　　　　・ｐ46　【現状と課題】の文章のなかに高齢者の役割について、

　　　　　　　　具体的なキーワード（例：元気な高齢者に活躍の場を・・・など）を

　　　　　　　　挿入し、再度文章の訂正をする。

　　　　　　　・ｐ52　異なる文化や価値観を共有する　などのキーワードを挿入。

　　　　　　　・その他誤字脱字の訂正。

●今後のスケジュール

・「はじめに」　町長あいさつ文の作成

・各目標における事業概要の確認

・答申にあたっての文章（委員長より）

・上記を含めた内容の、再提出

３．その他

ⅰ）１０月２１日（土）開催のセミナー報告

　　　テーマ： 「今こそ女性活躍推進！（ポジティブ・アクション）」

　　　講師： 宮越 泰子氏（一般財団法人女性労働協会 女性就業支援専門員）

参加人数： ２２名（女性１５名／男性７名）

　　　　【内　容】

Ⅰ働く女性の現状と女性活躍推進法の必要性

　　　　　Ⅱ女性活躍推進（ポジティブ・アクション）の実践に向けて

　　　　　Ⅲ女性活躍推進法への対応

「Ｈ２９年度中小企業のための女性活躍推進事業」の紹介

　　　　　　Ⅳ地域における女性活躍推進

　　　　　　Ⅴポジティブ・アクションを成功させるには

　　　　　　※セミナー資料別添

　　　　【反省点】

　　　　　・募集について　９月広報、各地区回覧、町施設、町商工会への案内

スーパー・駅などへのポスター掲示・チラシ設置を

したが、事前集客は１０名程度だった。

内容は「女性活躍推進法」がテーマで、中小企業や人事

担当者向けの内容だったため、一般町民にはあまり関係

なかったという指摘もあった。

　　　　　　　　　⇒今後、一般町民全体で男女共同参画について考えるセミナーを開催

したい。町や市など、他の行事と重なる時期だった。

開催時期も再検討必要。

　　　　　　・当日受付の参加者が多数あった。

　　　　　　・「女性活躍推進法」についてよく分かり、一定の認知に繋がった。

　ⅱ）３月開催セミナーのご案内

　　　開催日：３月３日（土）１３:３０～

　　　テーマ：『アンガーマネジメントについて』

　　　講　師：吉野　ゆかり　氏

　　　会　場：町役場４階　会議室

　　　集　客：２０名（目標）

４．閉会の挨拶　　　　　　　男女共同参画推進委員長　綿引　伴子